

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成31年3月14日 (2019.3.14)

【公表番号】特表2018-510319(P2018-510319A)

【公表日】平成30年4月12日 (2018.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2018-014

【出願番号】特願2017-555431(P2017-555431)

【国際特許分類】

F 2 3 R 3/42 (2006.01)

F 0 2 C 7/00 (2006.01)

F 0 1 D 25/00 (2006.01)

B 3 2 B 3/26 (2006.01)

【F I】

F 2 3 R 3/42 E

F 0 2 C 7/00 C

F 0 1 D 25/00 L

B 3 2 B 3/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月29日 (2019.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の複数の構造要素および第 2 の複数の構造要素をそれ自体において定める第 1 のシートであって、前記第 1 の複数の構造要素は、凸状窪みの形状で前記第 1 のシートから突出し、前記第 1 のシートは、凹状窪みの形状で前記第 1 のシートから突出する前記第 2 の複数の構造要素をそれ自体においてさらに定め、前記第 1 の複数の構造要素は前記第 2 の複数の構造要素に対して交互になる関係で配置され、前記第 1 の複数の構造要素および前記第 2 の複数の構造要素は負のポアソン比を提供するために配置され、前記第 1 の複数の構造要素および前記第 2 の複数の構造要素は、流体が前記複数の構造要素を通じて流れることを防止するゼロポロシティの非多孔性である、第 1 のシートと、

前記第 1 のシートとの間に第 1 の内部空所を定めるために前記第 1 のシートと隣接して配置される第 2 のシートと

を備えることを特徴とするオーゼティック構造体。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のオーゼティック構造体であって、前記第 2 のシートは平坦であることを特徴とするオーゼティック構造体。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のオーゼティック構造体であって、前記第 2 のシートは、前記第 2 のシートから凸状窪みの形状で突出する第 3 の複数の構造要素と、前記第 2 のシートから凹状窪みの形状で突出する第 4 の複数の構造要素とを定め、前記第 1 の複数の構造要素および前記第 2 の複数の構造要素は負のポアソン比を提供するために配置されることを特徴とするオーゼティック構造体。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のオーゼティック構造体であって、前記第 1 のシートの前記第 1 の複数の

の構造要素および前記第 2 の複数の構造要素は、楕円キャップの形状であることを特徴とするオーゼティック構造体。

【請求項 5】

請求項 3 に記載のオーゼティック構造体であって、前記第 2 のシートの前記第 3 の複数の構造要素および前記第 4 の複数の構造要素は、楕円キャップの形状であることを特徴とするオーゼティック構造体。

【請求項 6】

請求項 3 に記載のオーゼティック構造体であって、前記第 1 のシートの前記第 1 の複数の構造要素は、前記第 2 のシートの前記第 3 の複数の構造要素のうちの対応するものと整列され、前記凸状窪みのうちの対応するものが互いに隣接し、前記第 1 のシートの前記第 2 の複数の構造要素は、前記第 2 のシートの前記第 4 の複数の構造要素のうちの対応するものと整列され前記凹状窪みのうちの対応するものが互いに隣接することを特徴とするオーゼティック構造体。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載のオーゼティック構造体であって、前記第 1 のシートおよび前記第 2 のシートは金属シートを各々備えることを特徴とするオーゼティック構造体。

【請求項 8】

請求項 2 から 7 のいずれか 1 項に記載のオーゼティック構造体であって、  
前記第 2 のシートとの間に第 2 の内部空所を定めるために前記第 2 のシートと隣接して配置される第 3 のシートをさらに備えることを特徴とするオーゼティック構造体。

【請求項 9】

請求項 8 に記載のオーゼティック構造体であって、前記第 2 のシートは、前記第 1 の内部空所と前記第 2 の内部空所との間の流れを許容するために、それ自体において複数の開口を備えることを特徴とするオーゼティック構造体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

構造体 10 によって提供される 1 つの利点は、ゼロポロシティと、特に局所的および / または全体的な N P R 挙動のおかげで、変位の制御された荷重の下で呈される小さい応力値とである。開示された N P R 構造体は、非多孔性であり、流体の通過を許容しないため、限定されることはないが、機械的および / または熱的な負荷を受けるタービン構成部品、熱交換器、ボイラ、または任意の他の構造体または構成部品など、多孔性が不利となる任意の構造体において、利用に向けて優れた候補を提示する。